

## 病院の再編・ネットワーク化、新病院の整備・誘致の事例紹介

※各運営団体や病院のホームページ等より

## 1. 指定管理者制度

病院名	都道府県	病床数	指定管理者	概要
市立奈良病院	奈良県	350床	公益社団法人地域医療振興協会	当院は、国立病院機構奈良病院が奈良市に移譲されて平成16年12月1日に誕生した。病院の開設者は奈良市だが、実際に病院を管理し、運営しているのは公益社団法人「地域医療振興協会」である。国内における先駆け的な事例である。
公立新小浜病院	長崎県	150床	雲仙・南島原保健組合	雲仙・南島原保健組合は、国立病院等の再編成計画により、国から国立病院の移譲を受け平成14年3月に公立新小浜病院を開設し、平成17年4月に公立介護老人保健施設老健おばまを開設した。
銚子市立病院	千葉県	91床	一般財団法人銚子市医療公社	平成22年5月より新病院の指定管理者を「医療法人財団 銚子市立病院再生機構」に決定。平成27年4月より「一般財団法人 銚子市医療公社」が指定管理者となった。

## 2. 地方独立行政法人化

病院名	都道府県	病床数	運営団体	概要
東千葉メディカルセンター	千葉県	314床	地方独立行政法人 東金九十九里地域医療センター	山武長生夷隅地域は県内でも主要疾病（がん・心疾患・脳血管疾患）による死亡の比率が高く、また、医療従事者数も少ない状況であった。さらに、救急車の管外搬送率（地域外への搬送率）が約40%と高く、三次救急を担う医療機関もなかった。そこで、東金市と九十九里町により地方独立行政法人を設置し、この地域の医療の問題を解決するため地域医療の中核となる東千葉メディカルセンターを建設した。なお、千葉県立東金病院は、東千葉メディカルセンター開院に伴い閉院した。
さんむ医療センター	千葉県	312床	地方独立行政法人 さんむ医療センター	組合立国保成東病院は、平成21年10月の臨時議会で病院組合の解散に関する協議が可決、定款と評価委員会設置条例が議決されたことを受けて、平成22年4月に山武市が設立団体となり、「地方独立行政法人さんむ医療センター」としてスタートした。
国保旭中央病院	千葉県	989床	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院	平成28年4月1日付にて経営形態を変更し、「地方独立行政法人」へ移行した。

### 3. 病院の統廃合

病院名	都道府県	病床数	運営団体	概要
日本海総合病院	山形県	646床	地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構	山形県運営の「山形県立日本海病院」と、酒田市運営の「市立酒田病院」を経営統合することになり、平成20年4月1日より両自治体が共同で設立した地方独立行政法人「山形県・酒田市病院機構」が、前者を「日本海総合病院」、後者を「日本海総合病院酒田医療センター」として運営している。
横浜市立みなと赤十字病院	神奈川県	634床	日本赤十字社	横浜市立港湾病院と横浜赤十字病院の機能を継承（統合）し、平成17年4月に開院した病院である。横浜市が開設し、日本赤十字社が指定管理者として運営にあっている
桑名市総合医療センター	三重県	322床	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	平成24年4月1日、地方独立行政法人桑名市民病院と医療法人山本総合病院が統合し、地方独立行政法人桑名市総合医療センターがスタートした。

### 4. 新病院誘致

病院名	都道府県	病床数	運営団体	概要
(仮称) イムス葛飾中央総合病院	東京都	300床	医療法人社団明芳会	平成24年度に、葛飾区内の医療需給状況等を調査・分析し、課題の把握と解決に向けた方向性を明らかにすることを目的に、「区内医療環境充実のための調査」を実施した。 調査結果から、葛飾区の人口10万人あたりの病床数は、東京都平均や、葛飾区と同一の二次保健医療圏に属する足立区、荒川区と比較して少ないこと、区内南部地域（新小岩・奥戸）では、病院が少なく救急対応病院がないことなどがわかった。 そこで区は、区民が必要とする医療が継続的に安定して受けられるよう、区内医療環境のさらなる向上を図る一環として、公募により旧松上小学校跡地に民設民営の病院を誘致することとした。
(仮称) 順天堂大学附属病院	埼玉県	800床	学校法人順天堂大学	平成27年3月に開催された埼玉県医療審議会で、埼玉県さいたま市に2020年度開院予定で順天堂大学医学部附属病院を設置する計画が採択された。県の病院公募に同大学が応募していたもので、病床数は800床で、大学院と看護学部も併設する。医療過疎地域の県北部への医師派遣機能も期待されている。病院新設に伴い、「さいたま医療圏」の基準病床数を374床加算することも決まった。